

開発途上国の課題解決で ビジネスチャンスを掴む



三重県



「甘草」の安定供給に向けタジキスタンに加工工場



中国が輸出制限 新たな採取地を探す

当社は、甘草(カンゾウ)の根から有効成分を抽出するメーカーです。甘草はアレルギーや肝炎の医薬品のほか、シャンプーやリンス、化粧品と幅広く用いられています。以前は中国から輸入していましたが、乱獲により枯渇が危ぶまれ、輸出が制限されるようになりました。医薬品としての甘草は患者によっては代替の効かない存在。供給責任を果たすため、他に採集できる場所を探し、資源を守りながら安定的に供給するシステムの構築に乗り出しました。

調査の結果、中央アジアで広く採集できることが分かり、2013年にJICAの事業を活用し、まずはタジキスタンに進出することになりました。根こそぎ採集するのではなく、根の一部を土中に残すことでの再生可能な状態にしています。16年に再びJICAに採択され、現地の加工で発生する副産物を肥料として再利用する事業も始めました。

スタッフは現地雇用 出稼ぎの必要もなくなる

タジキスタンの現地工場はアフガニスタンに隣接した地域にあります。日本人が駐在するにはリスクが高いため、現地法人の社長や工場長など全スタッフを現地で雇用しています。近隣の農民に甘草の採集方法を指導し、工場で買い取っています。産業の乏しいタジキスタンでは成人男性の多くが出稼ぎでていますが、当社の取り組みにより、その必要がなくなり、家族と過ごす時間が増えたと感謝されました。

中国での苦い経験から特定の国に依存することのないよう、現在ではタジキスタンを含め5か国に進出。そのすべてで現地雇用をしています。日本人のマインドに合わせて働いてもらうよう、根気よく教えていました。人材育成は一筋縄ではいかないことがあります。現地の人とともに働くことを大切にしています。サステナビリティと技術力といった他の競合企業にはない強みを示していくことで行政関係者の支援も得られています。



JICA事業で目指す
SDGs GOALS



COKEY
宏輝システムズ株式会社

三重県松阪市上川町3639-7

代表取締役 吉田 直正さん

お問い合わせ先

**JICA(ジャイカ)中部
企業連携課**
☎052-533-1387 (直通)
✉cbictps@jica.go.jp